

グループ理念、会社概要、財務ハイライト、目次、編集方針

トップメッセージ

サステナビリティに関する取り組み推進

サステナビリティに関する取り組み推進方針
サステナビリティに関する取り組み推進体制
マテリアリティに基づくKPI・目標
ステークホルダー・エンゲージメント
イニシアチブへの参加
サステナビリティに関する外部評価

環境

TCFD提言に基づく情報開示
TNFD提言に基づく情報開示
環境マネジメント
脱炭素社会の推進
自然災害対策
生物多様性
水資源
循環型社会の推進
環境配慮に関する外部評価・認証
サステナビリティファイナンス

社会

人権の尊重
サプライチェーンマネジメント
品質・お客様満足の向上
不動産ストックの再生・活用
地域社会・コミュニティへの貢献
人材開発
健康経営/労働安全衛生
ダイバーシティ&インクルージョン

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス
リスクマネジメント
コンプライアンス

データ集

第三者保証

地域社会・コミュニティへの貢献

方針・考え方

当社グループは、地域の発展や地域の価値向上が、自社の事業の持続的な成長にもつながると考え、コミュニティ活動やボランティア活動をはじめとする社会貢献活動を通じた都市における人とのつながりの強化や、そこに住まう方々の豊かな暮らしの実現を支援しています。事業活動を行う各地域において、地域社会の一員として、地域の皆様、オフィスビルのテナント様やマンションの入居者様、NPO、官公庁、民間企業など、様々なステークホルダーと共創しつつ、地域の発展や地域の価値向上に寄与する取り組みに尽力し、「豊かな社会づくり」に貢献しています。

まちと当社事業の持続的発展に向けた取り組み

当社が創業以来約130年にわたり本社を構える東京駅周辺の八重洲・日本橋・京橋エリア(以下、YNKエリア)は、国内随一の高いアクセス性を有しており、都内各エリアや地方都市、世界ともつながる日本の中心地として、さらには人・もの・情報が集積するグローバルビジネスの拠点として、いまなお発展を続けています。当社は、江戸時代から金融・商業・文化の中心を担ってきた本エリアの魅力を活かして、当社のマテリアリティの一つに掲げる「国際都市東京の競争力強化」を実現し、産業の集積地として一層のにぎわいを創出するための再開発を推進しています。

2026年に竣工の「TOFROM YAESU(八重洲プロジェクト)」、進行中の「呉服橋プロジェクト」「京橋三丁目プロジェクト」では、国家戦略特区*の指定を受け、ビジネス拠点化・交通拠点化を推進しています。さらに大企業が集積す

るといふ地の利を活かし、エリア内にスタートアップやベンチャーキャピタル等が集い、活動するイノベーション拠点を創出・提供することで、新興企業に対する大企業からの投資の促進や両者間の協業の活発化に寄与しています。

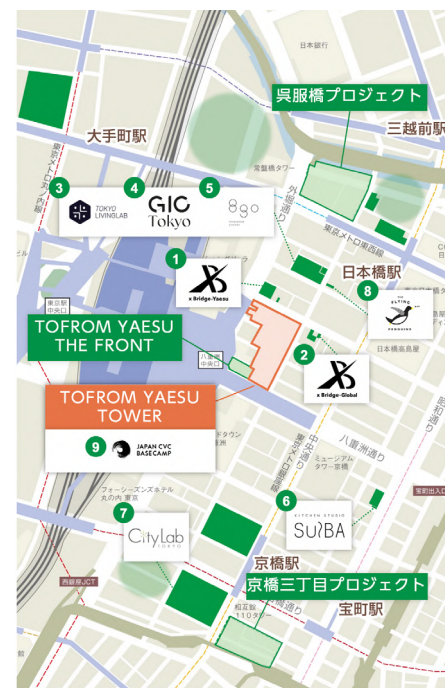
* 成長戦略の実現に必要な、大胆な規制・制度改革を実行し、「世界で一番ビジネスがしやすい環境」を創出することを目的に創設された制度。

イノベーション・エコシステム形成

当社は、YNKエリアにおいて、国内外から集まる企業や人の交流を活性化することで、エリア全体のイノベーションを促進する「イノベーション・エコシステム」の形成を推進しています。2026年度には新たに、日本初*となる大企業の新規事業担当者およびCVC(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)向けの拠点「JAPAN CVC BASE CAMP」をTOFROM YAESU TOWER(東京都中央区、2026年2月竣工)内に開設し、大企業のオープンイノベーション支援を行います。

* FIRST CVC株式会社調べ。

YNKエリア内における進行中の再開発プロジェクトと主なイノベーション拠点



YNKエリア内の主なイノベーション拠点

<p>スタートアップ支援</p> <p>1 xBridge-Yaesu スタートアップの飛躍を支えるエコシステムビルダー向けのシェアオフィス兼イベントスペース</p> <p>2 xBridge-Global グローバルスタートアップ企業の集積やコミュニティ形成等を支援するインキュベーション施設</p>	<p>6 Kitchen Studio SU?BA 賑わいの場を創出し、多様な「食」の文化を醸成するシェアキッチン</p>
<p>リジェネレーション</p> <p>3 TOKYO LIVING LAB リジェネレーションの思想に共感する人々が集まりイノベーションの実証と社会実装を行う場</p> <p>4 Gastronomy Innovation Campus Tokyo ガストロノミー×サイエンスによるイノベーションにより日本の食の未来をつくるキャンパス</p> <p>5 Innovative Kitchen 8go リジェネラティブをコンセプトに、食を通じて行動変容のきっかけをつくるコレクティブキッチン</p>	<p>サステナビリティ</p> <p>7 City Lab TOKYO 持続可能な都市・社会づくりのためのオープンイノベーション拠点</p> <p>セレンディピティ</p> <p>8 THE FLYING PENGUINS 日替わり店員が“コネクタ”となって、出会いと“粋な交流”を生み出すバー</p> <p>オープンイノベーション</p> <p>9 JAPAN CVC BASE CAMP 大企業の新規事業担当者やCVC(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)に特化したイノベーション拠点</p>

グループ理念、会社概要、財務ハイライト、目次、編集方針

トップメッセージ

サステナビリティに関する取り組み推進

サステナビリティに関する取り組み推進方針
サステナビリティに関する取り組み推進体制
マテリアリティに基づくKPI・目標
ステークホルダー・エンゲージメント
イニシアチブへの参加
サステナビリティに関する外部評価

環境

TCFD提言に基づく情報開示
TNFD提言に基づく情報開示
環境マネジメント
脱炭素社会の推進
自然災害対策
生物多様性
水資源
循環型社会の推進
環境配慮に関する外部評価・認証
サステナビリティファイナンス

社会

人権の尊重
サプライチェーンマネジメント
品質・お客様満足の向上
不動産ストックの再生・活用
地域社会・コミュニティへの貢献
人材開発
健康経営/労働安全衛生
ダイバーシティ&インクルージョン

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス
リスクマネジメント
コンプライアンス

データ集

第三者保証

地域社会・コミュニティへの貢献

JAPAN CVC BASE CAMP

- FIRST CVC株式会社と共同で、TOFROM YAESU TOWER内に開設した、大企業の新規事業担当者やCVCに特化したイノベーション拠点
- オンラインとリアルを組み合わせたサービス [Innovation OMO Ecosystem] を通じて、40社超の独立系VCとの連携による厳選スタートアップ情報の集約、独自AIエンジン [CATALYST] を活用した協業先探索、専門人材による伴走支援を一体的に提供し、スタートアップとの出会い創出から協業実行までを支援

● Regenerative City Tokyoの実現

当社は、環境や社会に関する課題への対応と人々のウェルビーイングの向上を同時に追求し、マルチステークホルダーに対して多面的な価値を創り続け、豊かな未来を創る「リジェネレーション」という考え方を尊重しています。2050年までに世界の人口の約70%が都市に集中するといわれていることから、人々が集中する都市を中心に、リジェネラティブな活動に取り組むべきだと考え、2024年に「Regenerative City Tokyo」構想を掲げました。

当社は、「Regenerative City Tokyo」構想の実現に向け、YNKエリアを中心に、リジェネの概念を核としたイノベーションを創出するため、「教育」「共創・オープンイノベーション」「社会実装」「情報発信」「物理的な場づくり」の5つの領域を意識して具体的なアクションを実施しています。本構想では、2027年度までに、リジェネレーションの実現に資する共創イノベーションプロジェクトを、YNKエリアを中心に10以上実施することを目標としており、2025年度までに「木庭MOKUTEI」などのプロジェクトを実施しました。これらのプロジェクトを拡大・浸透させることで、2030年には、リジェネラティブな世界を実現するための最

先端都市として、東京が、ロンドン、パリ、ニューヨークなどの国際都市の新しいロールモデルになることを目指しています。

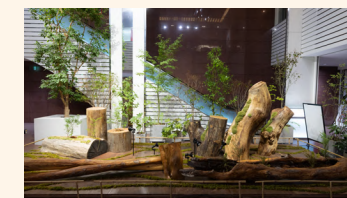
「Regenerative City Tokyo」構想の実現に向けた具体的なアクション

教育	リジェネレーションを体現する人材の教育・研修プロジェクト「RegenerActor」を開催(2023年より毎年開催)
共創・オープンイノベーション	次世代教育・事業共創プラットフォーム「Gastronomy Open Ecosystem」と共同で、食に対して全方位からアプローチする教育プログラムを提供する国際拠点「Gastronomy Innovation Campus Tokyo(GIC Tokyo)」を開設(2024年11月)
社会実装	<ul style="list-style-type: none"> • エリアににぎわいを生み出すイノベーションスタジオ「Kitchen Studio SUIBA」(2019年2月)、社会課題の解決を目指す実証実験・社会実装の場「Tokyo Food Lab」(2019年8月)およびリジェネレーションをテーマにした社会実装拠点「Innovative Kitchen 8go」(2025年5月)を開設 • 都市で生活する人々に「都市に居ながら森の再生や生物多様性の保全に貢献する」という新しい自然とのつながりの感覚を提供し、人々や社会のウェルビーイング向上を図る「木庭 MOKUTEI」プロジェクトを実施(2025年10月)
情報発信	リジェネレーションの思想・取り組みを日本ならではの文脈から理解・実践し、世界に向けて発信する国際カンファレンス「RegenerAction Japan」を開催(2023年より毎年開催)
物理的な場づくり	リジェネラティブな社会に向け、多様なステークホルダーが集まり会話・共創をする場「Tokyo Living Lab」(「GIC Tokyo」と「Innovative Kitchen 8go」で構成)を開設(2024年12月)

共創イノベーションプロジェクトの事例

都市の中の共創プロジェクト「木庭 MOKUTEI」

当社・株式会社リバネスおよび複数のスタートアップが協業し、都市の人々が自然の森の再生に關与する「木庭MOKUTEI」プロジェクトを東京建物八重洲ビルで開始。本プロジェクトは、ビルのオープンスペースに東京都西多摩郡檜原村産の木材を用いた庭を造り、ビルの来館者の手で苗木を育て、成長した後に檜原村の森へ植樹することにより、森の再生と生物多様性保全に貢献する取り組み。都市と自然の資源循環を実現し、都市で生活する人々に「都市に居ながら森の再生や生物多様性の保全に貢献する」という新しい自然とのつながりの感覚を提供することで、人々や社会のウェルビーイング向上を図る。



東京建物八重洲ビル地下2階「木庭 MOKUTEI」

TOPICS /

「Regenerative Cities Manifesto」を発表

当社は、リジェネレーションをテーマにした国際カンファレンス「RegenerAction Japan 2025」において、リジェネラティブな社会への変革加速に向けた声明文「Regenerative Cities Manifesto」を発表しました。本マニフェストは、Regenerative Cityの実現に向け、目指すべき未来の姿を示すものです。

グループ理念、会社概要、財務ハイライト、目次、編集方針

トップメッセージ

サステナビリティに関する取り組み推進

- サステナビリティに関する取り組み推進方針
- サステナビリティに関する取り組み推進体制
- マテリアリティに基づくKPI・目標
- ステークホルダー・エンゲージメント
- イニシアチブへの参加
- サステナビリティに関する外部評価

環境

- TCFD提言に基づく情報開示
- TNFD提言に基づく情報開示
- 環境マネジメント
- 脱炭素社会の推進
- 自然災害対策
- 生物多様性
- 水資源
- 循環型社会の推進
- 環境配慮に関する外部評価・認証
- サステナビリティファイナンス

社会

- 人権の尊重
- サプライチェーンマネジメント
- 品質・お客様満足の向上
- 不動産ストックの再生・活用
- 地域社会・コミュニティへの貢献
- 人材開発
- 健康経営／労働安全衛生
- ダイバーシティ&インクルージョン

ガバナンス

- コーポレート・ガバナンス
- リスクマネジメント
- コンプライアンス

データ集

第三者保証

地域社会・コミュニティへの貢献

YNKエリアにおけるウェルビーイングの取り組み

近年、心身の健康や生活の質を向上させることの重要性が高まっており、ウェルビーイングの重要性がより一層認識されています。こうした社会的ニーズに応えるため、当社ではYNKエリアのワーカーのウェルビーイングの向上に資する取り組みを積極的に推進しています。

当社が発足した「Well-being Lab.」では、個人のウェルビーイングの状態を簡易に測定できる独自ツール「ウェルビーイングスコア」を開発し、20個の「ウェルビーイング向上因子」を特定しました。当社が推進するプロジェクトでは、このウェルビーイング向上因子に結び付いた各種サービスを開発・提供していきます。

その先がけとして、TOFROM YAESU TOWER(東京都中央区、2026年2月竣工)では、ウェルビーイングをテーマとし、オフィス入居者様が心身ともにリフレッシュすることができ「YAESU SKY LOUNGE」や、「心と身体の健康」と「人や社会との繋がり」を創出するウェルビーイングフロア「Wab.(ワボ)」をはじめとして、ウェルビーイング向上因子を充たし、オフィス入居者様のウェルビーイングを向上させるサービス・機能・空間を実装しています。

当社は、今後もYNKエリアを中心に、ワーカーのウェルビーイングを向上させる取り組みを積極的に推進します。

ウェルビーイング向上因子

HEALTH 健康に過ごす	LEARN 新たな学び	NATURE 自然を感じる	SMILE 笑う	TRUST 役割を果たす
IDENTITY ありのままの自分	EXERCISE 適度な運動	SENSES 五感で体験する	CHAT 気軽な会話	COOPERATION 助け合い・感謝
OWN WAY 自分のペースで過ごす	IMPRESSION 心を動かす	MEAL 食へのこだわり	LINK ゆるやかな繋がり	COMPASSION 思いやりをもった行動
COMFORT 心地よい時間	ENTHUSIASM 夢中になる	REFRESH 気分転換	TOGETHER 仲間と集まる	CONTRIBUTE 地域や社会に貢献する

地域との共生

当社グループは、役職員一人ひとりが地域の一員としての意識を持ち、地域の歴史や文化を学び、後世へ伝えていくことが、当社グループの「まちづくり」において重要だと考えています。当社グループが事業を推進する様々なエリアで、その地域に根ざした取り組みを推進しています。

● 日本三大祭り「山王祭」への参加

YNKエリアの重要な伝統行事であり、日本三大祭りに数えられる「山王祭」(隔年開催)には地域住民の一人として、グループ役職員が積極的に参加し、伝統文化の継承に努めています。各町会の神輿を担いで練り歩く下町連合渡御にも、多くのグループ従業員が参加し、地元町内会の方々と一緒に祭りを盛り上げています。



山王祭



山王祭(神輿)

特集バックナンバー：東京建物のまちづくり活動(2017年公開)

● クリーン活動の実施

当社グループは、まちの美化にも努めています。特にYNKエリアにおいては、まちの美化のため、始業前の時間等を活用し、清掃活動を定期的に行っています。



朝の清掃活動の様子

グループ理念、会社概要、財務ハイライト、目次、編集方針

トップメッセージ

サステナビリティに関する取り組み推進

サステナビリティに関する取り組み推進方針
サステナビリティに関する取り組み推進体制
マテリアリティに基づくKPI・目標
ステークホルダー・エンゲージメント
イニシアチブへの参加
サステナビリティに関する外部評価

環境

TCFD提言に基づく情報開示
TNFD提言に基づく情報開示
環境マネジメント
脱炭素社会の推進
自然災害対策
生物多様性
水資源
循環型社会の推進
環境配慮に関する外部評価・認証
サステナビリティファイナンス

社会

人権の尊重
サプライチェーンマネジメント
品質・お客様満足の向上
不動産ストックの再生・活用
地域社会・コミュニティへの貢献
人材開発
健康経営／労働安全衛生
ダイバーシティ&インクルージョン

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス
リスクマネジメント
コンプライアンス

データ集

第三者保証

地域社会・コミュニティへの貢献

● NPO法人との協業

当社は、2005年よりNPO法人はな街道の事務局の一員として、YNKエリアの中央通り沿いの歩道部花壇における年3回の花の植え替えやメンテナンスをサポートしています。地域の小学校の生徒による花植えイベント（年3回開催）運営支援のほか、グループ全体から多くの従業員が参加する毎年春、夏、冬に開催される「クリーンウォーク（主に花壇の雑草駆除や花の植え替え）」の運営も支援しています。

2017年からは、NPO法人中央区森の応援団の事務局の一員となり、同法人が主催する「中央区まるごとミュージ

アム」における間伐材を利用したイベント活動を通じて、森林保全普及活動を支援しています。



中央通り歩道上の花壇での花の植え替え



日本橋橋洗い(橋掃除手伝い)

YNKエリアでのまちづくり活動実績(2025年)

イベント名	当社グループの活動・貢献内容
さくら祭り	花見、江戸消防記念会実演(協賛)、切り花の配布(協賛)、イベントスタッフ
はな街道クリーンウォーク	中央通り花壇のごみ拾い・花の植え替え(事務局スタッフとしても参加)
YNK清掃隊	当社主催の、YNKエリアの清掃活動(グループ従業員約230名が参加)
中央区クリーンデー、東京エキマチキラピカ作戦	中央区・町会や、東京駅・丸の内エリアとともに実施している合同清掃活動(グループ従業員約100名が参加)
山王祭	日本三大祭り「山王祭」神輿担ぎ手、提灯隊としての参加
日本橋橋洗い、路地洗い	名橋「日本橋」の橋掃除のお手伝い、YNKエリアの路地の清掃
京橋盆踊り	京橋盆踊りへの支援、踊り手としての参加
日本橋京橋まつり	実行委員およびイベントスタッフとしての参加
中央区まるごとミュージアム	中央区の魅力再発見のイベントへの協賛、イベントへスタッフとしての参加
東京イルミリア	八重洲・日本橋地区のさくら通り、仲通りのライトアップイベントの企画運営手伝い
箱根駅伝沿道警備ボランティア	中央通り沿いでの選手・観客等の安全確保
於満稲荷神社初午祭	養珠院通りの活性化支援(のぼり旗・街路灯装飾・行燈・縁台提供)
Meet with Flowers	切り花の配布や現代的ないけばな作品の展示等を行うフラワーイベント
T3 PHOTO FESTIVAL、Art in Tokyo YNK	若手の芸術家、写真家、学生などの作品発表の場の提供、アートのまちとしての情報発信、イベントの協賛

● 地域のにぎわい創出

当社グループは、地域の発展に貢献するため、にぎわい創出につながる取り組みを推進しています。

当社が保有するオフィスビル、中野セントラルパーク(東京都中野区、2012年5月全体竣工)では、敷地内の公開空地を、隣接する公園や大学と一体的に整備し、オフィスワーカー・学生・地域住民の交流の場として多様なイベントを開催してきました。こうした取り組みが評価され、2014年にグッドデザイン賞*「地域づくり、コミュニティづくり部門」を受賞しました。

2023年4月からは、当社を代表企業とする共同事業体が、中野セントラルパークに隣接する「中野区立中野四季の森公園」および「中野区立団町ひろば」の指定管理業務を開始し、公園と公開空地を合わせた約3haの緑豊かな環境を一体的に活用したイベント誘致等によるにぎわい創出に取り組んでいます。

また、中野区立中野四季の森公園は、地域の防災公園に指定されているため、中野セントラルパークと一体となって適切に運営管理を行い、地域の安全、安心にも貢献していきます。

* 公益財団法人日本デザイン振興会主催。デザインが優れたものごとに毎年贈られる、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動。

グループ理念、会社概要、財務ハイライト、目次、編集方針

トップメッセージ

サステナビリティに関する取り組み推進

サステナビリティに関する取り組み推進方針
 サステナビリティに関する取り組み推進体制
 マテリアリティに基づくKPI・目標
 ステークホルダー・エンゲージメント
 イニシアチブへの参加
 サステナビリティに関する外部評価

環境

TCFD提言に基づく情報開示
 TNFD提言に基づく情報開示
 環境マネジメント
 脱炭素社会の推進
 自然災害対策
 生物多様性
 水資源
 循環型社会の推進
 環境配慮に関する外部評価・認証
 サステナビリティファイナンス

社会

人権の尊重
 サプライチェーンマネジメント
 品質・お客様満足の向上
 不動産ストックの再生・活用
地域社会・コミュニティへの貢献
 人材開発
 健康経営／労働安全衛生
 ダイバーシティ&インクルージョン

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス
 リスクマネジメント
 コンプライアンス

データ集

第三者保証

地域社会・コミュニティへの貢献

● アーバンスポーツを通じた地域のにぎわい創出とスポーツウェルネスの実現

当社を代表に民間3社で構成するコンソーシアムが設立したTokyo Sports Wellness Village株式会社は、東京五輪2020のスケートボード競技等の会場跡地において、2024年10月、複合型スポーツレジャー施設「livedoor URBAN SPORTS PARK^{*1} (有明アーバンスポーツパーク)」を開業しました。本施設はPFI法^{*2}に基づき建設した複合型スポーツレジャー施設で、約3.1haの敷地規模のなかにスケートボードパークや屋内ボルダリング棟、3x3バスケットボールコートといったアーバンスポーツ施設に加え、屋外アスレチックやランニングスタジアムなどの運動施設、カフェやレストランなどの飲食施設を備えています。本施設では、スポーツを通じた「誰もが輝き、健康的で幸せを感じるまちづくり」をビジョンに掲げ、開かれたサステナブルなコミュニティとスポーツウェルネスを実現する拠点として、「スポーツ振興への寄与」「スポーツに親しむ次世代育成」「サステナビリティ社会の推進」に向けた取り組みを実施していきます。

※1 株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが通称名のネーミングライツを取得。
 ※2 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律。



livedoor URBAN SPORTS PARK内、スケートボードパーク

TOPICS

都立明治公園でランニングコミュニティ「Runner's Park Tokyo」を設立



当社を代表に民間6社で構成するコンソーシアムが設立したTokyo Legacy Parks株式会社(以下、TLP)は、2025年7月、ランニングコミュニティ「Runner's Park Tokyo」を設立しました。当コミュニティは、TLPが整備・運営する東京都立明治公園(東京都新宿区、2023年10月開園)を活動拠点に、株式会社ニューバランスジャパン、大塚製薬株式会社、ガーミンジャパン株式会社の協賛のもと、多種多様なランナーが集まり仲間やコーチを見つけられるランナーマッチングのプラットフォームとして展開されるランニングコミュニティです。東京におけるスポーツの象徴・国立競技場に隣接し、ランニングコースの聖地である神宮外苑至近というランナーの拠点として極めて高いポテンシャルを持つ都立明治公園と、当社グループが園内で運営する都市型スパ「TOTOPA都立明治公園店」をインフラとして活用するとともにランニングにかかわるレッスンやイベントなど幅広いコンテンツを提供し、スポーツを通じた持続可能なコミュニティの形成を後押しします。

マンション開発に伴うコミュニティ形成支援

Brillia City 石神井公園 ATLAS(東京都練馬区、2023年6月竣工)は、東京23区内で最大級の集合住宅の一つであった石神井公園団地の建替事業であり、当社をはじめとする事業協力者と石神井公園団地マンション建替組合が共同で手掛けました。建替工事中および建替後もコミュニティを存続させるため、開発にあたり新旧の住民同士や地域の方々との交流の場として、マンションの販売センターに隣接して「Shakuji-ii BASE」を開設しました。

当施設は現在、マンション内の当社らが所有するスペースにおいて株式会社Polarisが運営するコミュニティスペース「アンドエス」へとその役割を引き継いでいます。コワーキングスペースやイベントも開催できるレンタルスペース、シェア型書店などを備えており地域の交流の場として入居者様や地域住民の方々が安心できる空間の提供や、活発なコミュニケーションの醸成に貢献しています。



Shakuji-ii BASE



Shakuji-ii BASE での交流

グループ理念、会社概要、財務ハイライト、目次、編集方針

トップメッセージ

サステナビリティに関する取り組み推進

サステナビリティに関する取り組み推進方針
サステナビリティに関する取り組み推進体制
マテリアリティに基づくKPI・目標
ステークホルダー・エンゲージメント
イニシアチブへの参加
サステナビリティに関する外部評価

環境

TCFD提言に基づく情報開示
TNFD提言に基づく情報開示
環境マネジメント
脱炭素社会の推進
自然災害対策
生物多様性
水資源
循環型社会の推進
環境配慮に関する外部評価・認証
サステナビリティファイナンス

社会

人権の尊重
サプライチェーンマネジメント
品質・お客様満足の向上
不動産ストックの再生・活用
地域社会・コミュニティへの貢献
人材開発
健康経営／労働安全衛生
ダイバーシティ&インクルージョン

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス
リスクマネジメント
コンプライアンス

データ集

第三者保証

地域社会・コミュニティへの貢献

災害時における地域への対応

● 帰宅困難者支援の体制構築

大地震等の発生の際には、交通機能が麻痺し、多くの帰宅困難者が発生する可能性があります。当社グループの大規模オフィスビルの一部では、テナント様への支援準備を整えるとともに、自治体と協定を結び、周辺からの帰宅困難者の受け入れを想定した体制構築・物資備蓄を進めています。



東京スクエアガーデン



東京スクエアガーデンでの帰宅困難者受け入れ訓練

帰宅困難者の受け入れ可能施設

- 東京スクエアガーデン (東京都中央区、2013年3月竣工)
- 大手町タワー (東京都千代田区、2014年4月竣工)
- Hareza Tower (東京都豊島区、2020年5月竣工)
- TOFROM YAESU TOWER (東京都中央区、2026年2月竣工)

● 被災者等への温浴施設の提供

東京建物リゾートが展開する温浴施設「おふろの王様」は、「地域密着」を第一に「なくてはならない癒しの場」になることを目指し、神奈川県綾瀬市・海老名市および埼玉県和光市と「災害時における温浴施設の利用に関する協定」を締結しています。

大地震などの災害発生時には、神奈川県綾瀬市・海老名

市および埼玉県和光市の近隣に立地する海老名店・高座渋谷駅前店・瀬谷店・和光店を、被災者等の入浴施設として提供します。

テナント様・入居者様に向けた取り組み

当社グループは、脱炭素や資源循環といった環境課題や感染症対策をはじめとする健康に関する課題の解決に向けて、保有ビルのテナント様や分譲・賃貸マンションの入居者様に対し、様々な取り組みを行っています。

保有ビルにおける主な取り組み

- 東京スクエアガーデンや東京建物日本橋ビルなどの長期保有ビルにおいて、テナント様との間で脱炭素や資源循環をテーマにしたSDGs推進会議を実施し、ビル全体での環境の取り組みを推進
- テナント様に対して省エネルギーや廃棄物の分別・削減・リサイクル等の案内チラシの配布、または直接訪問による対話を通じた意識啓発(年4回以上実施し、事業本部でモニタリング)
- 当社保有ビルのエントランスやトイレに設置した消毒液での手指の消毒の実施、喫煙室の閉鎖等についてテナント様に協力要請し、健康に関する取り組みを推進

分譲マンションにおける主な取り組み

当社と東京建物アメニティサポートは、循環型社会推進に向け、当社が供給済み、また今後供給する分譲マンションにおいて、廃食用油や衣類・雑貨の回収、物品レンタル、親しみやすいゴミ置き場のデザインなど、廃棄物削減に寄与する様々な取り組み(すてないくらプロジェクト)を実施。従来、物件ごとに管理組合主体で行われていた集団回収などの取り組みに加え、物件規模や特性を踏まえ、導入を推進

☐ すてないくらプロジェクト(P.46)